



# 学校だより

2019年7月19日  
No.4  
射水市立堀岡小学校  
校長 佐藤 静香

桜の開花と共に始まった1学期ですが、あっという間に節目を迎え、夏休みまであと数日になりました。大きな事故やけがもなく、無事に1学期を終えることができますのも、保護者や地域の皆様のおかげと感謝しております。



子供たちは、1学期の大きな行事である運動会を始めとして、日々の学習に、係や委員会の活動等に力いっぱい取り組んできました。23日(火)には保護者懇談会が予定されています。この1学期のお子さんの成長やよさを振り返り、次への希望や目当てをもつ機会になることを願っています。

さて、1学期の始業式では、子供たちに、「命」「人」「一生懸命」の三つのことを大切にすることを約束しました。そして、この一年、「なりたい自分に向けて挑戦し、夢や希望をかなえていきましょう」と呼びかけました。まだ、集約中ですが、第1学期を振り返ってのアンケート結果(児童分)によると、「学校に来るのが楽しい」「決められた時間、家庭学習に取り組んでいる」など、どの項目もおおむねよい結果が得られました。しかし、個別に見てみると「手を挙げて1日1回以上発言する」「友達のよいところを見付け、伝えている」「自分にはよいところがある」「早寝をしている」などの項目には、より一層の工夫や努力が必要であると感じました。保護者や校区の皆様はどのように感じておられるでしょうか。ご家庭や地域での様子とも比較され、忌憚のないご意見やご感想を寄せていただけると幸いに存じます。

## 地域の「ちから」ありがとうございます。

今年度も、学校では地域の方々の協力を得ながら、豊かな体験活動を取り入れています。講師の皆様、熱心にご指導いただき、ありがとうございます。

### ○ クラブ活動

「まっつんクラブ」：篠田順一さん、井上麻里さん

- ・クラブ活動の時間を中心に、獅子舞囃子の笛や太鼓の指導をしていただいています。

### ○ 射水市放課後子ども教室

- ・射水市教育委員会が主催する教室で、希望した子供たちが楽しく活動に取り組んでいます。年間8～14回、放課後に開催されています。

「漢字サークル」・漢字ドリルやゲーム等で漢字に親しみます。

村田郁雄さん、古野節子さん、門嶋睦子さん、紺谷郁子さん

「パソコンサークル」・文字入力練習、画像取込み、名刺等の作成をします。

堀川照美さん、石灰清美さん、吉田則枝さん、北裕美さん

「ひばりサークル」・絵本の読み聞かせや折り紙、工作等をします。

門嶋睦子さん、板倉まち子さん、明野志津子さん、  
浅尾真喜子さん、紺谷郁子さん、堀妙子さん

「金管サークル」・トランペットの奏法を学んでいます。

山本葉月さん、宮林純子さん



## 射北中学校区健全育成連絡協議会

6月28日(金)に、射北中学校において「射北中学校区健全育成連絡協議会」が開催されました。子供たちの健全な成長を願い、地域振興会長、射北交番所長、中学校評議員、防犯協会支部長、主任児童委員、小中学校のPTA会長、教員等30名あまりの方々による熱心な意見交換がなされました。一部をご紹介します。

- ・射北校区は、伝統的にJRC(青少年赤十字)の活動が盛んである。今もその精神が受け継がれ、学校教育を根っこの部分で支えている。今後もJRCの活動を広く知り、実際に取り組むことで、さらに意識を高めていくことができるのではないかと。
- ・定期的に防犯ブザーを使う機会を取り入れるなどして、子供たちの防犯意識や対応力を高めていくことを大切にしてほしい。
- ・子供たちの安心・安全を守るためには、全国の先進的な取組を調べ、可能な範囲でより効果的なものを取り入れるとよい。

地域ぐるみで子供たちを見守り、大切にしてくださっていることを改めて実感し、ありがたく思いました。今後ともよろしく願いいたします。

## 自分たちで すてきな学校をつくろう ～児童集会より～

〈そうじ名人になろう集会：環境飼育委員会【6月26日(水)】〉

ほうきやぞうきんの正しい使い方やそうじの仕方を、クイズを交えて分かりやすく発表しました。みんなで力を合わせて学校をぴかぴかにしようという願いがしっかりと伝わってきました。

〈あったかハート集会：運営委員会【7月3日(水)】〉



「射水市子ども条例」第3条に示されている七つの「子どもの権利」をみんなで声を合わせて読み上げたり、心が温くなる絵本の読み聞かせを聞いたり、ゲームをしたりしました。さらに「こんなときどうするの」の寸劇では、傷バン仮面が困ったときには周りの人に相談するなどの解決方法を教えてくれました。全校合唱の「あなたにありがとう」では、みんなのあったかハートが一つになり、素敵な時間を過ごすことができました。



## いのちの大切さを知る 地域を知る 人々の願いを知る ～海水魚の水槽～

「わーきれい」「教頭先生、めっちゃがんばったよ」帰り際に目を輝かせて玄関の水槽をのぞき込んでいた子供たちのつぶやきです。半日かけて水族館のようにきれいにご苦労を子供たちはちゃんと見ていたのですね。

昨年度はサクラマスを飼育し、その命をいただくことを通していのちの尊さ大切さを学んだ子供たちでした。今年度は魚が少なく、さみしい思いをしていたところ、堀岡養殖漁業協同組合の老月さんを通じて、共和丸の四柳さんからオコゼ、シマフグ、シマダイをいただくことができました。「堀岡の子供たちに、自分たちの地域の魚を知ってもらいたい」というお気持ちをありがたく思います。

子供たちには命の尊さとともに、自分たちを大切な存在として見守ってくださる地域の方々のおいや願いも感じ取ってほしいものです。



今回は他にも4年生の「海洋教室」や7日(日)朝の「海浜清掃」、朝の「体力づくりタイム」等、学校だよりでお伝えしたいことが多くありました。紙面の都合上、触れることができず申し訳ありません。2学期には、より多く子供たちの様子をお伝えできるようにしたいと思います。子供たちが1学期間、元気に登校できたことを感謝申し上げます。夏休み中も子供たちへの支援と見守りをいただきますよう、お願いいたします。

「海水魚」の水槽は、他の小学校にはあまり見られません。その理由の一つには管理の大変さが挙げられます。仕切りを工夫して小さな魚を守るよう試行錯誤を繰り返したり、水を総入れ替えしてきれいにした結果、冒頭の言葉となったのです。

## 体力づくりタイム

## 海浜清掃

